

## 正誤表

『PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編』第2版第1刷（2022年4月20日発行）、第2刷（2022年10月1日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2023年10月25日

金原出版株式会社

### 記

頁	訂正箇所	誤	正
155	手順 14. 例 2～3行目	頭部を非麻痺側肘関節方向に <u>頭部を</u> 移動させないまま	頭部を非麻痺側肘関節方向に移動させないまま
184 および 巻末ルーブリック評価表4-3 起立・着座、 介入	採点基準 2. 技能 (9) 左列	(9) 着座前に、患者とともに座面までの <u>虚路</u> を確認し、必要に応じて修正できる。	(9) 着座前に、患者とともに座面までの <u>距離</u> を確認し、必要に応じて修正できる。
241 および 巻末ルーブリック評価表4-6 歩行、分析	採点基準 2. 技能 (5) 左列	(5) 開始姿勢（立位姿勢）について <u>説明</u> できる。	(5) 開始姿勢（立位姿勢）について <u>観察</u> できる。
241 および 巻末ルーブリック評価表4-6 歩行、分析	採点基準 2. 技能 (6) 左列	(6) ①補助具、②装具の使用状況について <u>説明</u> できる。	(6) ①補助具、②装具の使用状況について <u>観察</u> できる。
241 および 巻末ルーブリック評価表4-6 歩行、分析	採点基準 2. 技能 (7) 左列	(7) ①歩行様式、②自立度について <u>説明</u> できる。	(7) ①歩行様式、②自立度について <u>観察</u> できる。

<p>241 および 巻末ルーブリック評価表 4-6 歩行, 分析</p>	<p>採点基準 2. 技能 (8)</p>	<p>(8) 立脚期, 遊脚期の割合の大きさや歩幅の左右差について<u>観察・分析</u>できる。  2点: 立脚期, 遊脚期の割合の大きさや歩幅の左右差について<u>観察し, 適切に分析できる</u> 1点: <u>観察・分析</u>が不十分 0点: <u>観察・分析</u>が誤っている 0点: <u>観察・分析</u>ができない</p>	<p>(8) 立脚期, 遊脚期の割合の大きさや歩幅の左右差について<u>観察</u>できる。  2点: 立脚期, 遊脚期の割合の大きさや歩幅の左右差について<u>観察できる</u> 1点: <u>観察</u>が不十分 0点: <u>観察</u>が誤っている 0点: <u>観察</u>ができない</p>
<p>271</p>	<p>⑦衣服の修正 最終行</p>	<p>非麻痺側に手が届きやすくなる。(図7b)。</p>	<p>非麻痺側の手が届きやすくなる (図7b)。</p>
<p>272</p>	<p>④非麻痺側の手を抜く 見出し</p>	<p>④非麻痺側の手を抜く</p>	<p>④麻痺側の手を抜く</p>
<p>275</p>	<p>図 16 図説: 課題 E</p>	<p>B・D を連続して実施</p>	<p>B～D を連続して実施</p>
<p>277</p>	<p>手順 8. ⑤</p>	<p>⑤頭部を<u>袖</u>に通す動作を確認する</p>	<p>⑤頭部を<u>襟ぐり</u>に通す動作を確認する</p>

以上

## 正誤表

『PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編』第2版第1刷（2022年4月20日発行）、第2刷（2022年10月1日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2023年4月4日

金原出版株式会社

## 記

頁	訂正箇所	誤	正
201 および 巻末ルーブリック評価表4-4 非麻痺側、分析	採点基準 2. 技能 (3) 左列	①車椅子の停車位置、車椅子とベッドとの①角度、③距離、④位置関係について観察できる。	①車椅子の停車位置、車椅子とベッドとの②角度、③距離、④位置関係について観察できる。
202 および 巻末ルーブリック評価表4-4 非麻痺側、分析	採点基準 2. 技能 (8) 左列	①重心の移動方向、②上肢、②体幹、③下肢の運動について観察できる	①重心の移動方向、②上肢、③体幹、④下肢の運動について観察できる

以上

## 正誤表

『PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編』第2版第1刷（2022年4月20日発行）、第2刷（2022年10月1日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2022年11月18日

金原出版株式会社

### 記

頁	訂正箇所	誤	正
72 および 巻末ルー ブリック 評価表 3-5	採点基準 2. 技能 (4) 右列	<u>2点：処方された荷重量まで荷重するよ う誘導・補助できる</u> <u>0点：誘導・補助をしない</u>	2点：①，②どちらもできる 1点：①，②のどちらか一方のみできる 0点：どちらもできない
72 および 巻末ルー ブリック 評価表 3-5	採点基準 2. 技能 (7)	<u>(7) 両上肢の支えを徐々に減じさせ、リ スク管理を実施して片脚立位で処方さ れた荷重量まで荷重させることができ る。</u>	削除（右列とも）
72 および 巻末ルー ブリック 評価表 3-5	採点基準 2. 技能 (8) 左列	<u>(8) 片脚立位で、…</u>	(7) 片脚立位で、…
72 および 巻末ルー ブリック 評価表 3-5	採点基準 2. 技能	(追加)	(8) 片脚立位で、①上肢や患側下肢から の情報を利用して、②リスク管理を実施 して処方された荷重量まで荷重させる ことができる。  2点：①，②どちらもできる 1点：①，②のどちらか一方のみできる 0点：どちらもできない

以上